

NO	事業名(実施計画)	位置付け	コメント	進捗度	ニーズとの合致	方向性	
1	ネットワーク・コーディネート	重点	・地区担当職員(生活支援コーディネーター)が配置され、地域に寄り添った活動を、地域住民や機関と連携してすすめてこられたことは評価できる。今後よりいっそう、認知され、活動を進めていっていただきたい。	4.0	4.0	4.6	P.1
2	災害ネットワーク・災害時対応	重点	・青年会議所との協定締結、マニュアルの改訂、災害ネットワークの会議体や訓練への参加など高く評価できる。また、ボランティア受け入れ等の訓練を年に1度は行っていることも評価できる。平時の見守り活動にも、地域の自主防災組織との協力が必要であり、災害時要支援者名簿の活用も含め検討を継続していただきたい。	3.2	3.6	3.8	P.2
3	人材育成・確保		・人材養成のために多様な内容の講座が企画され、体系化されたことは評価できる。また、講座受講者へのフォローアップは評価できる。さらに、受講終了者のその後の活動の広がりが見られることも評価できる。これらの講座の周知方法も工夫を重ねていただきたい。	4.4	4.0	4.4	P.5
4	助け合い・支えあい		・ネット員の増員、そのための活動周知などは課題として残る。しかし、見守りくん(防災グッズ)の活用が評価できる。また、地域福祉ファシリテーター養成講座修了者による新しい活動も立ち上がり、修了者同士の交流もなされていることは評価できる。	3.8	3.4	4.4	P.8
5	介護予防・高齢者の生きがい		・介護予防の体験会など、啓発や周知のための取り組みは評価できる。	4.0	4.0	4.6	P.12
6	子育て支援		・子育て団体のネットワークづくりのためのミーティングなどの取り組みは評価できる。SNS学習会や子ども食堂マップづくりや講座なども、ニーズにあっており、評価できる。また、子ども食堂が全市へ広がったことは評価できる。さらに地域ごとの活動を広げていっていただきたい。	4.0	4.0	4.2	P.15
7	認知症の方への支援・介護者支援	重点	・より身近な場所(全市各地区)にサロンが開設したことは評価できる。必要な方が、気軽に参加できるよう、周知方法が課題である。	4.0	3.6	4.2	P.21
8	権利擁護		・「後見紙芝居」などの広報活動は評価できる。しかし、成年後見制度に対する世間一般のネガティブな評価を払拭するためのPRが必要である。また、市民後見人養成講座修了者のフォローは評価できるが、活動の場の確保について工夫をしていっていただきたい。	3.6	3.2	3.6	P.24
9	生活困窮者		・フードバンク、フードドライブの取り組みは評価できる。「フードバンクみたか」を市民が認知し、運営が継続していくことが望まれる。また、受験生チャレンジ支援貸付事業はニーズに合致しているので、さらに広報につとめていただきたい。	4.0	4.2	4.2	P.27
10	組織体制強化	重点	・市との連携強化の取り組みは評価できる。災害ボランティアセンターのマニュアルの改訂なども評価できる。	3.4	3.0	3.2	P.29
11	広報・PR強化		・ホームページはリニューアルされ、わかりやすくなり、評価できる。しかし、市民により周知されるよう取り組みを続けていっていただきたい。	3.6	3.0	3.0	P.31
12	資金調達		・会費収納の仕方についてのアンケート調査や会費や寄付募集方法等の改善の取り組みは評価できる。また、財源確保も工夫を重ねていっていただきたい。	3.2	3.0	3.2	P.33

NO	事業名(実施計画)	個々の委員から寄せられた、今後の地域福祉活動についての付帯意見
1	ネットワーク・コーディネート	
2	災害ネットワーク・災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に在宅避難をしたときのボランティアの手配や個々の住民への対応方法等も検討をしていていただきたい。 ・災害時に社協が担う(市役所とは異なる)役割について、住民へ周知していていただきたい。
3	人材育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が活動を上げた後、運営を継続するための支援を工夫していただきたい。 ・助成金が打ち切られた後、資金と人材の確保が課題となる。そのような状況への支援も検討をしていただきたい。
4	助け合い・支えあい	
5	介護予防・高齢者の生きがい	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防のサロン等を立ち上げた後の継続的な支援のあり方を充実させていていただきたい。 ・自主グループの立上げや継続的な活動のために、会場の確保が課題となっている。情報収集などをしていただきたい。また、例えば、閉店店舗の借用交渉等を検討してほしい。
6	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての居場所等で、母親同士の交流を通して(例えば、車道側は親は子どもから目をはなさないことなどを)理解しあうようになっていただきたい。 ・民生委員・児童委員が「赤ちゃん訪問」をする時に、社協の子育てサロン、イベント情報を紹介すると良いのではないか。 ・貧困家庭の児童を把握する工夫を重ねていただきたい。
7	認知症の方への支援・介護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方の家族への支援は、今後アウトリーチしていくことも検討していただきたい。 ・認知症の方に対する支援と、介護者への支援は分けて考えていくべきである。
8	権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロン等でも後見制度の内容や、社協が相談窓口であることを周知していくと良い。 ・法人後見の開始等を検討していただきたい。
9	生活困窮者	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバンクへの食料品供出方法の工夫を重ねていただきたい。災害用備蓄品の賞味期限切れ前の活用などを提案していけないか、検討をしていただきたい。
10	組織体制強化	
11	広報・PR強化	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の取り組み全体についてPRを重ねていただきたい。
12	資金調達	<ul style="list-style-type: none"> ・社協と関わりのない市民へ、社協の取り組みや、会費の使い道などについて情報発信を継続していただきたい。